

# 地域社会に対する愛情を育てる社会科指導の工夫 —「岡登用水すごろく」の作成・交流を通して—

社会科 齊藤 好子 (小学校教諭)



地域の発展に尽くした先人を身近に感じてほしいなあ。

分かったこと、感じたことを自分の言葉で表現できる子どもになってほしいなあ。



「岡登用水すごろく」を作成し、交流しよう。

すごろくにすると、学習したことを絵や写真なども入れて分かりやすく1枚にまとめることができます。また、学習したことを楽しく振り返ることができます。

## 4学年「郷土に伝わる願い（笠懸野の開発）」で、授業実践をしました

### ①「つかむ」過程

全員で資料の読み取り



体験活動



### ②「追究する」過程

各自で調べ学習



調べ学習後に見学



すごろくのマスの中には、書きためたカードの言葉を入れていく。

学習したことを3種類のカードに書きためる。



#### 3種類のカード

- 白いカード → 分かったこと
- ピンクのカード → 当時の人々の思いや願い
- 青いカード → 自分の生活と重ねての感想

### ③「まとめる」過程

友達や家族とすごろくを行う。



学習を終えての感想

00番がかんがえた46マスの閉景買がむが  
かしくよく思いついたなと思いました。

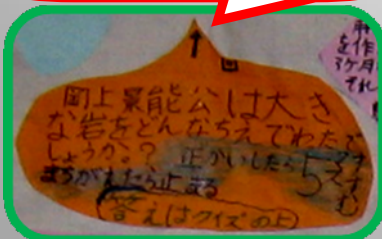
私も岡上様みたに人々を助けていた  
です。

マスの周りに、岡登用水の見学をした時の写真を載せる。



模造紙4枚を合わせました。

マスの中にクイズを入れる。



マスの周りに、絵を載せる。



## 完成した「岡登用水すごろく」



#### 成果

学習したことをもとに、分かったこと、感じたことを3種類のカードに書く活動を繰り返し行ったことにより、カードへの記述の内容が深まり、カードをもとに意欲的にすごろくを作成することができた。完成したすごろくで交流したことにより、知識や考えを広げることができた。

#### 課題

本単元を学習し終えた後も、地域社会に対する愛情を育てる手立てを継続して行っていく必要がある。